

# 内水氾濫防災マップの作成を急げ



月田 均



町長

## 危険箇所の調査を進め作成する

**質問** 玉村町総合防災マップは、内水による氾濫を考慮していない。台風19号から得た情報をもとに、内水氾濫防災マップを作成すべきだ。

**答弁** 町長 現在、区長や消防団に危険箇所等の調査を依頼しており、それをもとに作成する考えである。完成後はスマホ等の地図アプリでも見られるよう整備したいと考えている。

### 過去の台風被害は

**質問** 過去の台風の被害状況は。

**答弁** 町長 カスリーン台風以降、堤防の決壊はない。記憶に新しいところでは、平成23年の台風15号、29年の台風21号で水位の上昇があった。

### 内水氾濫の危険箇所は

**質問** 私の記憶では、カスリーン台風以降10回ほど川が大きく増水している。平成10年の台風では東部スポーツ広場ま

で水が上がり、昭和56年ごろの台風では、増水で五料橋の河川敷内の道がすっかりなくなりました。また、私が小学校2、3年生のころにも増水で電柱が流されるのを見た。

**答弁** 町長 内水氾濫は、利根川や烏川に河川等が流れ込む場所で発生しやすいが、何か所あるのか。

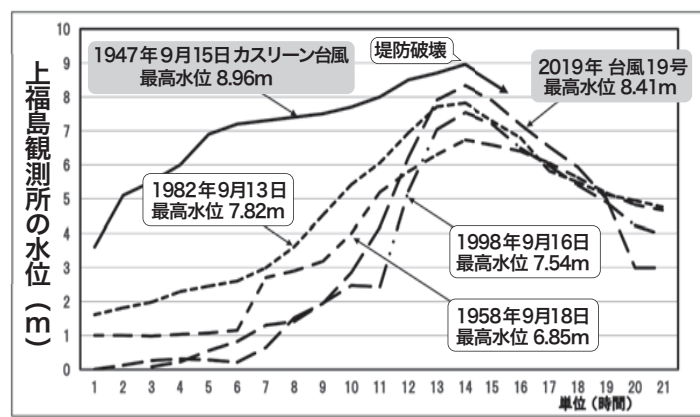
**答弁** 町長 都市建設課長 烏川に5カ所、利根川には藤川・高橋川・端気川等がある。

### 河川の最高水位、時刻の予測は可能か

**質問** 河川の最高水位とその時刻を事前に予測できれば、増水対応に役立つと思うが。

**答弁** 町長 水位雨量情報システム等から情報を得て判断しているが、今回は一部サイトが閲覧できなくなり、情報収集におくれが出てしまった。

**質問** 上福島水位観測所の水位のピーク時刻と比較し、県庁裏は1時間、渋川大正橋で



過去の台風の水位変化（上福島）

は2時間早くピークが来る。さらに上流は3時間早い。これらの情報を利用すれば、早い時点で上福島の最高水位とその時刻を予測できるのではないかと。

**答弁** 副町長 上流の水位等のデータを活用し、早い段階で警報を出せるよう研究したい。

**質問** 台風19号における避難所設営の経過は。

**答弁** 町長 烏川の水位上昇により、10時に警戒レベル3避難準備・高齢者等避難開始を川井・飯倉・五料に発表し、同時にB&G海洋センターを避難所として開設した。16時には角洲地区もレベル3対象地域とし、社会体育館を避難所とした。また、18時10分には、芝根小学校体育館を追加開設した。

その後、利根川の水位が上がり、21時10分に避難勧告を利根川沿川の板井・斎田・福島・南玉・下之宮・上福島・原森地区を対象に発表し、玉村小学校を避難所として開設した。

**質問** 芝根地区の最初の避難所を、B&G海洋センターにした理由は。

**答弁** 環境安全課長 B&G海洋センターは協定締結避難所となっている。これまで避難所開設の経験が余りなく、そ

れほど多くの方が避難するとの想定もしていなかったため、B&G海洋センターを避難所とした。

**質問** 今回は避難者に水等の備蓄品配布を行わなかったが、配布できないのか。

**答弁** 環境安全課長 一時的な避難の場合は、水等の配布は行っていない。また、他市町村にも確認したが、配布していないとのことだった。

**質問** 今回の台風での浸水被害状況は。

**答弁** 町長 台風19号では、五料の矢川樋管周辺と上福島の高橋川周辺地域で床上・床下浸水の被害が発生した。両地区とも、烏川・利根川の水位上昇により、農業用水路等の雨水が流れづらくなったことが原



矢川樋管の内水氾濫箇所

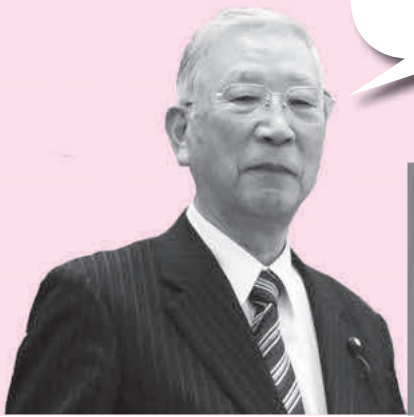
因と考えられる。  
**質問** 五料地域は内水氾濫により、過去にも浸水被害が発生している。有効な対策はないか。

**答弁** 副町長 ポンプ排水するか、家屋への浸水を防ぐため、土のう等を積むことだと考えている。

**質問** ポンプ排水するにはどうしたらよいか。

**答弁** 副町長 排水機場等の設置には多額の費用がかかるため、高崎河川工事事務所が所有する機動性ポンプ車を派遣してもらうなどの対策が考えられる。

# 最初の避難所がなぜB&Gなのか



高橋 茂樹



環境安全課長

## 避難者数の想定が十分でなかった

このページの下部には、委員会のつぎ、政策提言、その他の欄があり、7 たまむら 議会だより vol.88 2020年1月20日発行 と記載されている。